

第32期第13回常任理事会議事録

日時：2003年9月16日(火) 13時30分～17時50分

会場：日本気象学会事務室(8階)

出席者：廣田，古川，勝山，木田，田中，新野，藤部，
山内，以上8人

その他の出席者：館，島村(事務局)

議題

1. 第32期第12回常任理事会議事録の確認

2. 各委員会等の報告

庶務…転載許可

天気25巻4号，静止気象衛星GMS(ひまわり)第12・2号を丸善刊行予定の「機械工学基礎コース 流れの工学」への転載

・後援名義等使用依頼受付

名称：21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム 第4回こどものためのジオ・カーニバル

1) 主催：21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム 第4回こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

2) 期日：平成15年11月2日(日)，3日(祝)

3) 場所：大阪市立科学館

4) 名義：後援

名称：第2回「戦略的基礎ソフトウェアの開発」シンポジウム

1) 主催：東京大学生産技術研究所

2) 期日：平成15年12月3日(水)，4日(木)

3) 場所：経団連ホール(千代田区大手町1-9-4)

4) 名義：協賛

名称：第50回風に関するシンポジウム

1) 共催：日本建築学会他19学会

2) 期日：平成15年12月12日(金)

3) 場所：東北大学工学部青葉記念会館

4) 名義：共催

名称：第14回大気化学シンポジウム

1) 主催：名古屋大学太陽地球環境研究所

2) 期日：平成16年1月7日(水)～9日(金)

3) 場所：豊川市民プラザ(愛知県豊川市諏訪3-302)

4) 名義：協賛

・東京湾海洋環境研究委員会(前，東京湾海洋

環境シンポジウム実行委員会)委員派遣依頼について

東京湾海洋環境シンポジウム実行委員会より，東京湾の海洋環境の回復に向けた提言を取りまとめるため，「東京湾海洋環境研究委員会」を組織すること，当学会に対し，研究委員会の委員を派遣して欲しいとの依頼があった。東京湾海洋環境シンポジウム実行委員会のこれまでの活動内容を調査し，当学会としてどのように参画すべきかどうかについて検討した後に，委員を派遣するかどうかの検討を行うこととした。

・JACM (Japan Association for Computational Mechanics) 運営委員会選出依頼について

JACMは，国内の計算力学研究者・技術者が参加する組織で，主として計算力学に関する国際学術講演会を運営するIACM (International Association for Computational Mechanics) の学術活動に参画する目的で設立された。JACM会長より，国際的学術活動と国内の計算力学関連学会との間のコミュニケーションを図るために，気象学会からも運営委員を選出して欲しい旨の依頼があった。次回の常任理事会で適任者の候補について検討することとした。

・日本学術会議より報告書を受領

1) 学術のあり方常置委員会報告「日本学術の質的向上への提言」

2) 学術と社会常置委員会報告「科学における不正行為とその防止について」

の2文書を受領した。報告の後，常任理事間で供覧を行った。

・賛助会員の退会通知について

2件の賛助会員からの退会通知があった。企業と学会との接点について検討する必要性が議論された。

会計…2003年7，8月分の収支報告

天気…Vol. 50 No. 9 (2003年9月号)の掲載記事とVol. 50 No. 10 (2003年10月号)掲載予定記事の報告。

- ・最近、投稿原稿が不足しているとの報告があった。これについて、いかにして投稿を増やすことができるのか編集委員会で検討すること、また会員がどのような記事を求めているのか調査する必要があるといった指摘があった。

気象集誌…Vol. 81, No. 6 (December2003)の掲載記事の報告。

- ・6月号の印刷が悪かった件については、業者の責任で作成し直した後、再配布を行った。現在の仕様ではこのような事例の再発が予想されるため、今後は、1ランク上の用紙と印刷方法を仕様書に明示することとする。これによって経費増となるとの報告があった。
- ・特別号の予定は次のとおり。
GPS 気象学 (主担当: 中村一会員) Vol. 82, No. 1-b, 風送ダスト (主担当: 三上正男会員) Vol. 83, No. 1-b
- ・二重投稿の防止については、徹底した投稿規程を定め、投稿の際に Copyright Agreement Form の提出を義務付けることの検討を進めることとなった。

気象研究ノート…企画および進捗状況

- ・モンスーン研究の最前線…入稿済み、10月に刊行の予定
- ・ウィンドプロファイラー…原稿収集中、今年中の発行は間に合わない可能性あり。
- ・気象研究ノート203号の書店販売については、取次ぎに載る状況には無かった。出版予告は1年前までに行う必要があり、印刷する段階で登録されていなければならないとの報告があった。

講演企画…秋の大会の講演件数は427件

- ・2004年春季大会の準備状況の報告があった。
- ・総会時の行事 (国際交流等) の検討が必要との意見があった。

教育と普及…夏季大学を8月4～6日に開催した。

受講者数は81名であった。アンケートを行った結果、受講者の年齢層はより高齢化し、会社員あるいは無職の人が多かった。目的は自分の教養および趣味とのことであった。受講料の5500円は適当との声が多かった。

各賞…文部科学大臣賞 (科学技術功労賞) に学会の1名を推薦した。

国際学術交流…学生の旅費支援の申し込み件数が減少している。申し込み件数が少ないようであれば、制度の見直しが必要との議論があった。
電子情報…2003年7月1～8月31日の気象学会ホームページのアクセス状況 (7月69,613件, 8月72,276件)。

その他…学術会議気象研連次期委員選出の報告及びレター誌的電子ジャーナルの検討

- ・18期で報告書の作成を計画している。これを完成するまでは、現委員を留任させたい。1名減であるので、気象研究所の2名を1名にさせていただく。委員の留任は3期までであるが、特別の事情があるために、4期目の留任を許可していただけるよう交渉することとなった。
- ・レター誌的電子ジャーナル発行準備委員会設置の検討
基本的イメージとして、速報性・流通性を重視すること、大気科学全般の広い分野を対象とすること、編集過程の公平性と公開性を重視すること等を確認した。2005年の実施に向け、10月の全国理事会において提案できるように検討を進めることとした。

3. 会員の新規加入等について

新入会員19名を承認、退会90名。9月10日現在、会員数4,360名 (内、通常会員3,888名)。退会者数が多かったのは、2002年度会費未納者70名の除籍を8月末日に実施したためとの報告があった。

4. 第33期選挙について

第33期役員選挙の日程について確認した。

10月の全国理事会までに選挙管理委員長を委嘱する。庶務担当理事が、事前に選挙管理委員長候補者に対し打診を行うこととなった。

5. 会員制度の見直しについて

総会成立条件が厳しいため、会員の実情を反映した会員制度の見直しが必要であることについて、総合計画担当理事より提案があった。会員の利益を守ること、会員の平等性を保つこと、会員の名称のイメージを大切にしたいという基本理念・方針について確認した。

10月の全国理事会承認後、趣旨説明を天気誌上に掲載し、気象学会 HP 等を利用して会員の意見聴取を進める。会員の理解を得るために最善の努力を行うことが確認された。

6. 第2回評議委員会の形式と議題について

第2回評議委員会の進め方について議論した。次回理事会までにキーとなる言葉を拾い出すこととし、理事会の各委員会で、回答を検討する。評議委員会では、その回答に対し、各評議委員から再度付け加える意見を頂くこととした。

欠員となっている評議委員については、評議委員の委嘱の手続きを行うことになった。

7. 学会運営に関する諸問題について

学会の会員制度、経費の問題など学会運営に関す

る諸問題について引き続き検討を進めることとなった。

8. 第32期第5回理事会の議題について

第32期第5回理事会で議論する議題の内容について、整理を行った。

9. その他

事務局の体制について議論を行った。現在の体制を維持する必要がある、欠員が出た場合には速やかに補充を行うことを確認した。

 事務局だより

2004年個人会費等の納入について

2004年の会費等の請求時期となりました。事務局では、12月初めに請求書を送付すべく準備を進めています。つきましては、会費等の納入に関して下記のように行いますのでご承知おきください。

- ① 会費は前納制となっており、12月初めに、2004年の会費と2003年中にお送りした大会予稿集(83, 84号)及び気象研究ノート(204号)の代金の請求を併せて送付させていただきます。代金の納入は、各会員で申請されている、以下の②、③の方法により納入して下さい。
- ② 納入方法が、郵便局からの振込みの方は年内に振り込まれるようお願いいたします。特に、気象庁在籍の方の納入方法は本年から変更されました。今夏の照会で預・貯金口座からの引落しを選択されなかった方は、郵便局からの振込みにより、各個人

で納入していただきます。ご注意下さい。

- ③ 支払方法が、預・貯金口座及びカードからの引落としによる方は、2004年2月初めに各口座からの引落としをさせていただきます。
- ④ 気象学会の運営は会員各位の会費により成り立っています。学会の円滑な運営のため、②の方は納入期日を厳守して下さい。また、③の方は口座の残高をご確認願います。なお、納入方法の変更(2005年以降の実施)については常に受け付けていますので事務局までお申し出下さい。

(社) 日本気象学会事務局

tel ; 03-3212-8341 (ext2546)

fax ; 03-3216-4401

e-mail ; metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp